

# 米工だより

山形県立米沢工業高等学校

平成24年7月13日第16号

発行 校長 大津 清

## レスリングは全国制覇に挑む

去る6月1日(金)～3日(日)に平成24年度山形県春季総合体育大会が県内各地で開催された。結果は、レスリング競技で60kg級で昨年に続き佐藤優哉選手、66kg級で後藤譲二選手がインターハイ出場を決めた。ぜひ、インターハイでは、全国制覇を成し遂げてもらいたい。二度とない高校3年間の集大成となる最高の舞台上で花を咲かせてください。

## 米工生の栄光の足跡

|                     |            |                     |       |      |            |
|---------------------|------------|---------------------|-------|------|------------|
| ●県高校春季総体<br>レスリング競技 | 団体戦        | 第2位                 | 東北大会へ |      |            |
|                     | 個人戦        | 60kg級               | 第1位   | 佐藤優哉 | 東北、インターハイへ |
|                     |            | 66kg級               | 第1位   | 後藤譲二 | 東北、インターハイへ |
|                     |            | 46kg級               | 第2位   | 勝俣裕大 | 東北へ        |
| 陸上競技                |            | 74kg級               | 第2位   | 丹野匠  | 東北へ        |
|                     | 100m       | 第3位                 | 田中慎太郎 | 東北へ  |            |
|                     |            | 第5位                 | 大地信之介 | 東北へ  |            |
|                     | 砲丸投        | 第5位                 | 青木謙一朗 | 東北へ  |            |
| 登山競技                | 5000m      | 第5位                 | 伊藤翼   | 東北へ  |            |
|                     | 優秀賞(2位)    | 鈴木理基・荒井洸毅・齋藤龍雅・竹田智貴 |       |      |            |
| 水泳競技                | 飛板飛込       | 第1位                 | 大場智貴  | 東北へ  |            |
|                     | 1500m自由形   | 第5位                 | 鈴木智侑  | 東北へ  |            |
|                     | 400m個人メドレー | 第5位                 | 鈴木智侑  | 東北へ  |            |
|                     |            | 第8位                 | 佐々木寛貴 | 東北へ  |            |

## 布施義尚氏(先輩)のこと

去る7月11日(水)午後4時より、本校大会議室において財団法人時尚奨学会奨学生決定通知書交付式が行われました。

この奨学金は、布施義尚氏が寄贈したことからは始まり、さらにその後も多くの方々のご支援のもとに今日まで引き継がれてきたものです。布施氏は本校機械科を大正2年に卒業され、(株)セイコー精機の社長を歴任され、昭和51年にご逝去されました。布施氏は入院中の病室で次のように話されました。

私がセイコー精機の社長の座を占めたのは、ひとえに明治の末期、山形県唯一の米沢工業学校に学ぶことが出来たからである。当時、山形市郊外の一寒村に過ぎない山寺に生まれ育った私は勉強したい一心から、はるばる米沢の地に十数歳の身を運び、経済的困難と闘いながら、どうやら大正2年3月卒業できた。生家も家計に余力がなく、学費の支払いもままならず困難を極めたものだった。見かねた学校では私のためにできる限りの便宜を図ってくれた。多くの人々の善意に支えられながら学業を終え就職することが出来た。私は、いつかはなんらかの形で母校や社会に報いなければならないと心に誓い精進つづけてきた。

もし、有能な青少年が経済的理由で学業に専念できないということがあれば、それは単に本人ひとりの不幸にとどまらず国家社会にとっても一大損失であり、私として到底忍びないものがある。だからいつか私の資産の一部をさいて母校の後輩の育英の資に当てたい。

何と素晴らしい崇高な考え・生き方でしょうか。私たちも布施氏の生き方を見習っていかなければならないと思いました。

理想は高く、姿勢は低く いつも心に太陽をもって 前へ前へと進もう

(末川 博、民法学者)

